



# 各務原市まちづくり活動助成金

# 平成30年度交付事業報告集

令和元年度交付事業一覧も掲載しています。



**各務原市 市長公室 まちづくり推進課**

〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69 TEL:058-383-1997

E-mail:machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

当報告集は  
ウェブページからも  
ご覧いただけます。



※掲載してある内容は、団体から提出された実施報告書類や団体へのヒアリングおよび取材をもとに作成しました。

# 平成30年度交付事業

平成30年度交付事業（1年目） ※No.1はスタート助成、No.2・3はまちづくり助成

No	事業名	分野	団体名	ページ
1	こころとからだの安らぎをサポートする事業	まちづくりの推進	松が丘ゆったりクラブ	3
2	新加納地区の文化・歴史遺産を次世代に継承する事業	文化振興	中山道間の宿 新加納まちづくり会	4
3	監督はキミだ！各務原市の魅力を再発見☆わくわく映画制作ワークショップ事業	まちづくりの推進	各務原市全国まちおこし映画祭実行委員会	5

平成30年度交付事業（2年目） ※No.4はスタート助成、No.5・6はまちづくり助成

No	事業名	分野	団体名	ページ
4	ひとり親世帯の助け合いとその子どもたちの未来を支える活動事業	子どもの健全育成	シングルマザーとその子どもたちの会～freely～	6
5	庭木と人のふれあい・助け合い活動事業	環境の保全	剪定ライフサークル	7
6	「遊びと文化」の力で楽しい子育て事業	子どもの健全育成	特定非営利活動法人 各務原子ども劇場	8



## 各務原市まちづくり活動助成金とは

この助成では、市民の皆様が知恵を出し合い、力を合わせて地域の課題解決をする「市民によるまちづくり活動」の促進とNPOや市民活動団体の成長を目的に団体が行う活動や事業に要する経費の一部を、予算の範囲内で助成するものです。

まちづくり活動とは・・・

まちづくり活動とは、広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行っている公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその成果を実感できます。

## まちづくり活動助成金の種類・条件等

- ・助成金には2種類あり、団体の設立年数(助成を受ける年の4月1日基準日)で決まります。
- ・申請できるのは、年度内に1団体1事業1回までです。

① スタート助成 まちづくり活動を通じて、団体の設立や自立を目指します			
設立年数		設立後3年未満の団体	
審査方法		書類審査	
		1年目	2年目
助成金額	助成率	助成対象経費合計の2/3以内	助成対象経費合計の1/3以内
	助成金限度額	100,000円	50,000円
	※上記及び総事業費から事業の実施に伴って得られる国または県補助金、利用料金その他収入を控除して得た額を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切捨て)		
注意事項		スタート助成を受けた場合は、当該助成事業の完了年度の翌年度はまちづくり助成を申請できません。	

② まちづくり助成 まちづくり活動を通じて、課題解決する団体への更なる成長を目指します			
設立年数		設立後3年以上の団体	
審査方法		書類審査、公開プレゼンテーションによる審査	
		1年目	2年目
助成金額	助成率	助成対象経費合計の2/3以内	助成対象経費合計の1/3以内
	助成金限度額	300,000円	150,000円
	※上記及び総事業費から事業の実施に伴って得られる国または県補助金、利用料金その他収入を控除して得た額を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切捨て)		
注意事項		別事業で申請する場合またはスタート助成を受けた場合は、当該助成事業の完了年度の翌年度は申請できません。	

## 【参考】平成31年度のまちづくり活動助成スケジュール

まちづくり活動助成金 申請・審査の流れ		まちづくり活動助成金 交付決定後の流れ	
平成30年12月	助成金説明会	平成31年4月	交付事業開始
平成31年1月	申請書類受付	平成31年11月	中間報告書類提出
平成31年3月	書類審査	平成32年1月	公開報告会
平成31年3月	公開プレゼンテーション(発表は、まちづくり助成1年目のみ)	平成32年3月	実施報告書類提出 (提出締切日は事業によって異なりますのでご確認ください)
平成31年4月	交付通知		

※助成金説明会・申請書類受付時期は変更になる場合があります。翌年度の募集についてはご確認ください。

<b>NO.1</b>	<b>団体名</b>	<b>松が丘ゆったりクラブ</b>		
<b>助成金種類 事業名</b>	スタート助成<1年目> こころとからだの安らぎをサポートする事業			
<b>事業費総額</b>	85,924 円	<b>助成金額</b>	43,000 円	
<b>主な経費内容</b>	講師謝礼、チラシ用紙、ラミネートフィルム、インク、紙コップ、会場使用料、 脳トレ器具、脳トレ冊子、折り紙の本、電動ポット、珈琲サーバー、ドリップポット、 トレー、器具保管容器、昭和歌謡 CD			
<p>●事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、原則第4木曜日、13:30～15:30の2時間、「ゆったりカフェ」を開設した。</li> <li>・地域の活性化をめざす中で、2時間ではあるが、こころとからだのやすらぎ、すなわち「ゆったり」時間を過ごしていただいた。年間来場者数:延べ253人。</li> <li>・基本はなにもしないが、来ていただいた方がお茶をしながら、レコードを聴いたり、折り紙をしたり、ダーツをしたり、おしゃべりをしたりして過ごしていただいた。</li> <li>・すこしメリハリを付ける意味で、珈琲の淹れ方教室や、歌声喫茶コーナーのようなことも行った。</li> </ul> <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが集える場所に、月平均21人が来場し、おしゃべりを楽しんだ。</li> <li>・松が丘長寿会というシニアクラブの役員がスタッフをしている関係で、長寿会会員は多く来ている。長寿会の会員以外の住民も多く来場し、おしゃべりの輪に溶け込んで活気が見られた。</li> <li>・参加者の46%が長寿会会員以外であり、松が丘住民に「ゆったりクラブ」が定着しつつある。</li> <li>・日頃家に引っ込みがちの方が、話し相手を探して来てくれている。</li> <li>・気楽に来ていただいている感じがする。構えなくて来られる。自由気ままにきて、ゆったりできる。</li> </ul> <p>●団体の活動目的・目標</p> <p>地域の人たちのこころとからだの安らぎをサポートすることを目的に、現役の仕事を引退した地域住民を中心に設立した。</p>				



<b>NO.2</b>	団体名	<b>中山道間の宿 新加納まちづくり会</b>	
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 新加納地区の文化・歴史遺産を次世代に継承する事業		
事業費総額	348,351 円	助成金額	231,000 円
主な経費内容	歴史パネル製作代、歴史の町先進地視察交通費、かわら版印刷代、資料用紙、インク、歴史資料送料(切手代)		
<p>●事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史パネル 9 枚(うち 1 枚は 2 枚分の大きさであるため計 10 枚分)を制作。</li> <li>・12 月 2 日(日)に、新加納地区ふれあいセンターにて歴史パネル展を開催。参加者 100 名。</li> <li>・かわら版は 6 月、11 月、3 月と 3 回、各 1,000 部発行。新加納地区の全世帯に配布した。</li> <li>・4 月 10 日(火)奈良市内(薬師寺・法隆寺)の寺院の回廊の視察・見学を行い、8 名が参加した。</li> </ul>			
<p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史パネルの展示 子供会を通じた小学生約 65 名を対象に行き、自分たちの住んでいる新加納の歴史、地域の昔話について、関心を持ってもらうことができた。</li> <li>・かわら版の年間 3 回の発行 新加納の最新の情報や、中山道間の宿新加納まちづくり会が現在取り組んでいる事業についてのミニコミ誌として、新加納地区全世帯に配布した。地域住民のコミュニケーションの活性化に役立っている。</li> <li>・歴史の町先進地の視察・見学 今回歴史パネルの作成にあたって、薬師寺・法隆寺の回廊や由緒書きに関心を持って視察・見学を行った。歴史パネルを新加納陣屋公園に設置していくうえで、技術的な部分とデザイン、内容や書き方、文言に至るまで細かく注意して見学した。歴史パネルは長期に渡って展示するため、耐久性に優れた材質で作る必要があるため、同じような状況で使用されていることを考えて防水効果のあるパネルを使用することで、耐久性の向上を図ることができた。</li> </ul>			
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>文化的で歴史的な趣のある安心・安全のまちとしての新加納地区の文化・歴史遺産を次の世代に、学習し継承していくことを目的に、主に地域の有志が中心となって設立した。</p>			



<b>NO.3</b>	<b>団体名</b>	<b>各務原市全国まちおこし映画祭実行委員会</b>	
<b>助成金種類 事業名</b>	まちづくり助成<1年目> 監督はキミだ！各務原市の魅力を再発見☆わくわく映画制作ワークショップ事業		
<b>事業費総額</b>	455,430 円	<b>助成金額</b>	300,000 円
<b>主な経費内容</b>	ワークショップ会場使用料、上映会会場使用料、撮影機材レンタル費用、編集作業委託費、メイキング動画制作費、チラシ・プログラムデザイン費、ワークショップ募集チラシ印刷費、上映会パンフレット印刷費、スタッフ T シャツ、事務消耗品費、招待状郵送費、ボランティア保険料、振込手数料		
<p>●事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちおこし映画の制作ワークショップを実施、参加者 17 名。</li> <li>・参加者は 2 チームに分かれて、シナリオ・撮影・編集など 7 回に分けて映画制作を体験。「凧日和」と「ペーパー飛行機」の 2 本の短編映画が完成した。</li> <li>・2 月 24 日(日)に各務原市立中央図書館の多目的ホールにおいて完成した映画の上映会を開催。163 名の観覧者が映画を鑑賞した。</li> </ul>			
<p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した市民がーから映画制作に関わることにより、「わたし達の住むまち各務原」の魅力を再認識や新たな発見によって郷土愛を育むことができ、団結心と新しい事に挑戦する楽しみが生まれた。年齢・性別をこえたチームでの映画制作は世代を超えた交流の場となり映画の枠を越えた相乗効果が生まれた。</li> <li>・完成披露上映会では、ワークショップ参加者による「舞台挨拶」、「映画制作にまつわるトークセッション」を行い、映画制作によって得られた体験や作品への思いを語ってもらう事で、日常生活では経験できない貴重な体験ができた。</li> <li>・完成した映画を観てもらうことにより、市内外の多くの方々に各務原市の魅力(場所・ひと・物)を知ってもらうことができた。</li> </ul>			
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>地域活性化の一環として、「まちおこし映画」の制作・上映活動を実施し、映像文化によるプロモーション活動と地域の魅力を再発見を行うとともに、世代間を超えた交流の機会を提供する。</p>			



<b>NO.4</b>	<b>団体名</b>	<b>シングルマザーとその子どもたちの会～freely～</b>	
<b>助成金種類 事業名</b>	スタート助成<2年目> ひとり親世帯の助け合いとその子どもたちの未来を支える活動		
<b>事業費総額</b>	177,354 円	<b>助成金額</b>	50,000 円
<b>主な経費内容</b>	セミナー講師謝礼、チラシ印刷費、映画ポスター印刷費、映画上映料、会場使用料、会場付帯設備使用料、振込手数料		
<p>●事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月20日(日)相互理解セミナー「大切なワタシ・大切なアナタ」(ドメスティックバイオレンスについて)参加者18人。セミナー後には、講師を交えて交流会を実施した。</li> <li>・11月11日(日)親子で小物づくり体験会「楽しい美しいポーセラーツ体験」を開催、参加者9人。体験会終了後には講師を交えて交流会を実施した。</li> <li>・2月10日(日)子育てセミナー「育児は育自 子育てを通じて心を軽くする方法」を開催、参加者18人。セミナー後には講師を交えて交流会を実施した。</li> <li>・8月25日(土)に「さとにきたらええやん」午前・午後の計2回、上映会を実施。来場者は午前の部51人、午後の部40人。上映会終了後には、交流会を実施した。</li> </ul> <p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各務原市社協や地域社協、自治会の方々に広く活動を知っていただくことができた。シングルマザー同士のネットワークは各務原市のみならず他市のシングルマザーの参加も増え、助け合いの輪が広がっていると実感。老若男女世代を超えて交流する機会も得られた。</li> <li>・ドキュメンタリー映画「さとにきたらええやん」鑑賞会では、生き辛さに悩む親や子どもが多く存在することを知っていただくことが出来た。市民ひとりひとりが、子どもや社会へ見守りのまなざしを向けることで、市が暮らしやすく変わっていくのではないかと啓蒙活動にも繋がった。</li> <li>・子育て世代のみならず保育園に務める先生方の参加も見込めるようになった。</li> </ul> <p>●団体の活動目的・目標</p> <p>シングルマザーとその子どもたちの行き詰まり感・生き辛さの解消、参加者相互の親睦を深め、必要となときに共に助け合える仲間づくり、自分らしい人生を生きるための勉強会などの活動を行うことを目的とする。</p>			



<b>NO.5</b>	<b>団体名</b>	<b>剪定ライフサークル</b>		
<b>助成金種類 事業名</b>	まちづくり助成<2年目> 庭木と人のふれあい・助け合い活動事業			
<b>事業費総額</b>	494,578 円	<b>助成金額</b>	128,000 円	
<b>主な経費内容</b>	バリカン、噴霧器、剪定道具、勉強会用DVD、傷害保険、会議室使用料、 消毒液、剪定道具消耗品、軽トラックガソリン代、印刷代、事務消耗品、 コピー代、掃除道具消耗品			

●事業内容

- ・高齢と費用の両面から庭木の管理にお困りの方に対し、『おたすけ剪定』18件を実施した。
- ・東町自治会で出張出前講座(東町公園のサツキ・ツツジの剪定実践講座)を実施した。
- ・樹木の座学・実技の学習(勉強会・指導)を、月1回、計12回開催した。
- ・自治会やグループ等を含め、低木を剪定したいと願う方々を対象に、福祉センター、ライフデザインセンター、ふれあいセンターに出張出前講座のチラシを計2回配布し、喚起活動を実施した。

●成果

- ・おたすけ剪定により、地域の困り事の一部が解消し、地域の方が潤うこととなった。
- ・おたすけ剪定の進め方について協議し、決定事項に従って実施した結果、依頼先の評価は良く、次回の予約を受けることとなった。
- ・東町自治会への出張出前講座は、公園の維持活動に反映されることに繋がった。
- ・活動を介して地域の住民と交流が深まり、高齢者のコミュニケーションに繋がった。
- ・勉強会は、初心者にも判りやすい内容と好評であった。剪定のスキルUPが図られ、樹木の緑化活動の担い手が増えること、庭木手入れの担い手が広まることに繋がっている。

●団体の活動目的・目標

本サークルは庭木の剪定技術を身に付けたいと願うメンバーで構成(各務原市の教育講座を受講したメンバー等)し、各務原市内の緑化に意識される[やってみよう自分で剪定 緑を育てよう]を課題に取り組んでいる。特に剪定技術育成活動を通じて庭木の維持管理を展開し、『各務原市の施設である小・中学校、保育所、福祉センター等の中・低木の剪定作業に貢献することを目的』とし、平成23年12月2日に設立した。その過程で地域住民と環境の相互に役立ち豊かな地域社会にするために貢献することを目的とし、平成23年12月2日から活動している。





<b>NO.6</b>	団体名	<b>特定非営利活動法人 各務原子ども劇場</b>		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<2年目> 「遊びと文化」の力で楽しい子育て事業			
事業費総額	484,255 円	助成金額	150,000 円	
主な経費内容	講師謝礼、ボランティア人件費、会場使用料、託児経費、チラシ印刷代、ポスター印刷費、事務消耗品			

●事業内容

【人形劇鑑賞会と交流】

- ・6月1日(木)「ミーくんとまほうのたね」(未就園児親子対象、29組58人、一般4人)
- ・10月18日(木)「みーくんのたのしいおつかい」(未就園児親子29組58人、一般4人)

【体験会と交流】

- ・6月28日(木)「今こそ、遊びの力を信じて～北島尚志氏講演会」(参加者37人)
- ・7月14日(土)「つくってあそぼ」(幼稚園から低学年親子13組27人)
- ・9月10日(月)「ミニ運動会」(未就園児親子13組26人)
- ・10月28日(土)「大道芸入門」(参加者52人)
- ・11月2日(金)「絵本 de おしゃべり会」(未就園児親子19組38人)
- ・12月3日(月)「ふゆの音楽あそび」(未就園児親子13組26人)
- ・2月2日(土)「おもしろ遊び大集合!!」(参加者39人)

●成果

- ・乳幼児を持つお母さんたちに向けて、お母さんが笑って楽しみ、ゆったりと構えていれば子どもはのびのびと遊びやお話の世界に入っていけるということや、ミーくんという共通の友達ができる楽しさも味わってもらえた。2回目の人形劇では、繰り返しは子どもにとって安心につながることを感じてもらうことができたほか、子どもの成長ぶりを感じてもらうことができた。
- ・大人が心を開き自ら楽しむことの大切さや、子どもの「もっと遊びたい」という主体性に目を向けることができた。評価されることばかりで自己肯定感につながりにくい今の子どもに現状にふれられ、NPO 法人として、今後もこのような事業を地域の中で続けていくことの意義をさらに深めることができた。

●団体の活動目的・目標

- ・舞台鑑賞や体験活動を行うことにより、子どもたちに社会体験や社会参画の機会を拓け、「豊かな子ども時代」を過ごせるよう環境を整え、親も子も共に育ちあえる活動を目指す。



# 令和元年度交付事業

令和元年度交付事業（1年目）※No.1～8はスタート助成、No.9～13はまちづくり助成

No	事業名	分野	団体名
1	高齢者を対象にした ラジオ体操指導普及活動事業	スポーツ振興 保健・医療・福祉の増進	各務原市ラジオ体操連盟 健康増進部会
2	2019親子で Let'sアウトドア!事業	子どもの健全育成	みっばらキッズ
3	みんなで取り組む 産後ケア事業	保健・医療・福祉の増進 子どもの健全育成	カーネーション
4	世代間交流 ワークショップ事業	まちづくりの推進 芸術振興	リョクエンナーレ実行委員会
5	災害時に備えた 炊き出し訓練事業	災害救援 地域安全	鵜沼南町自主防災組織
6	性と命の多様性の 大切さを『伝える』事業	保健・医療・福祉の増進 子どもの健全育成	多文化共生コミュニティ いきる
7	みばらママ 子育てママの お役立ち窓口を開設事業	情報化社会の発展 子どもの健全育成	縁結びハピママ
8	縁結びマルシェ事業	まちづくりの推進	えんまる
9	防犯パトロール活動事業	地域安全	清住町 ふるさと創生会
10	鵜沼山崎町伝統文化の継承と 地域住民の連携強化事業	文化振興 まちづくりの推進	山崎区 屋形保存会
11	元気なシニアがいきいき暮らす! プロジェクト事業	保健・医療・福祉の増進 まちづくりの推進	人生これから!
12	地域で子育て応援フェスティバル事業	保健・医療・福祉の増進 子どもの健全育成	みんなのいえ つなぐ
13	病に負けない元気なところとからだ 作り事業	環境の保全 子どもの健全育成	つくろ!の会

令和元年度交付事業（2年目）※No. 14はスタート助成、No. 15・16はまちづくり助成

No	事業名	分野	団体名
14	こころとからだの安らぎをサポートする事業	まちづくりの推進	松が丘ゆったりクラブ
15	新加納地区の文化・歴史遺産を次世代に継承する事業	文化振興	中山道間の宿 新加納まちづくり会
16	監督はキミだ！各務原市の魅力を再発見☆わくわく映画制作ワークショップ事業	観光振興 まちづくりの推進	各務原市全国まちおこし映画祭 実行委員会

# 各務原市まちづくり活動助成金

各務原市は、市民の皆さまがまちづくりの主役としてご活躍していただくことで「市民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくり」の実現を目指しています。

こんな場所が  
あったらいいな

困っている人の  
力になりたい！



この地域課題に  
みんなで  
取り組みたい

いまの活動を  
もっと広く  
役立てたい！

